

広報

第76号



# 日大山形

令和4年4月29日発行

## 全国制覇

## 雪面に咲き誇る



県高校総体 大回転での滑走

全国高校選抜スキー大会 女子大回転優勝 松田弥咲妃

# 令和四年度 入学式

## 胸膨らむ春 青春を今、始めよう

春の陽気に草木の息吹を感じる四月六日、依然として新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながらであったが、新しい時代の担い手となる新入生三二三名を迎えて、令和四年度入学式が挙行された。同窓会長・保護者会役員の方々・教職員・保護者の皆さまが温かく見守る中、新入生たちはそれぞれの希望を胸に堂々と入場行進を行った。新入生諸君が、この良き日を無事に迎えることができた感激と感謝の気持ちを忘れず、たくましい本校生徒として大いに躍進し、実りのある三年間を過ごすことを願うばかりである。

### 式 辞

山々からの風も柔らかさを増し、木々の緑が芽吹く今日の佳き日、令和四年度日本大学山形高等学校入学式を挙行するにあたり、日本大学学長代理 日本大学薬学部長、島田晴先生のご臨席を賜りますとともに、桜華同窓会会長、藤田宏次殿、保護者会会長、齊藤秀昭殿をはじめ、保護者会役員の皆様、そして、保護者各位の列席をいただきまして、誠にありがとうございます。また、この上なき喜びであり、教職員を代表し心より御礼申し上げます。

さて、三二三名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんの入学を心よりお祝い申し上げます。また、保護者の皆様には、お子様の入学を心より喜び申し上げます。ここに集う三二三名の新入生の皆さんは、九か年の義務教育を無事終了し、日本大学山形高等学校という新たなステージに立つ仲間であり、この出会いを大切に、本校生徒として、気持ちを一つに充実した三年間を過ごしてください。

ところで、日本大学は、時の司法大臣山田顕義伯爵によって、明治二十二年に創立された日本法律学校を起源として、創立百三十二年後の現在におきまして、十六学部八十七学科を有する日本最大の総合大学へと発展し、今もなお進化を続けております。そして、皆さんが入学した本校は、一九五八年に山形学園・山形第一高等学校として創設され、その四年後の



校長式辞

九六二年には、日本大学の正付属校となり現在に至っております。創設六十二年という歴史の中で、日本大学の教育理念である「自主創造」の精神「自ら学ぶ」「自ら考える」を実践し「自ら道徳をひらく」を体現するため「知育・徳育・体育」をバランス良く養い育むための全人教育を展開しており、三万九千人を超える卒業生は、県内はもとより国内外の各界、各方面で活躍しております。

そして本校並びに日本大学の伝統を引き継ぎ、新たな歴史の継承者となる皆さんに、これからの三年間の学校生活で実践してほしいことを私から三つお願いいたします。

まず第一に「志を立てよ」ということです。奇跡の私塾と言われた松下村塾を主宰した幕末の思想家吉田松陰先生は「志を立てて、もって万事の源となす」という言葉を残されました。「何事をするにも志を立てることが大切である」という意味です。志を立てることが、心に決めた目標に向かって進むこととする気概を持つことであり、

自己の生きるべき道を決断するということです。

さらに、日本大学の創立者学祖山田顕義先生は、吉田松陰先生のもとで学び、十四歳の元服の折には、松陰先生から「立志は、特異を尊ぶ。一志を立てる時に人と異なることを恐れてはいけぬ、目標を高く持たなさい」との薫陶を受け、大きな刺激を受けました。

また、本校の校歌は、ボーイズ・ビー・アンビシャスから始まります。これは、皆さんもよく知っている札幌農学校（現在の代官頭を務めたメディア・スミス・クラーク博士の有名な言葉で「少年よ、大志をいだけ」と訳されています。若者は、大きな志を持って世に出よ」という意味です。クラーク博士もまた「目標を達成するためには、大きな志を持つことが重要だ」と説いています。何故なら、志が明確であれば、それに向かって努力することができ、

新入生の皆さん、皆さんには、輝かしい未来が開かれています。本校で大きな志を持って、本校で学び、友と大いに交わり、広く社会に目を開き、夢の扉を開いてください。本校の校歌には、そういう願いが込められているのです。

いつの時代にも、私たちの前途には平穩無事な未来だけが待ち受けているわけではありません。長い人生の中では幾多の逆境を乗り越え、「艱難辛苦」を克服しなければ前に進むことができない状況も巡ってきます。そのような時にこそ、「確かな志」が必要となります。



新入生代表 宣誓 國松由依（山形一中）

揺らぐことのない「確かな志」は、変化の著しく先行きが不透明な現代の社会を力強く生き抜く確かな力となり、そのためには確かな知識と揺らぐことのない思考力、公平な社会性、そして、互いに協働し合う心を身につけ、自由な発想力を最大限に発揮しながら、主体的に学ぶ、そのような強い信念が必要となります。この三年間の学校生活の間、どうか皆さん一人ひとりの「確かな志」を見出してください。

二つ目は「思いやりの心を持つ」ということです。中国の古典「論語」の中に書かれている孔子とその弟子である子貢の話です。ある日、子貢は孔子に尋ねました。「生きていく上でいつも心に留めておくべきことを一文字で表すとすれば、それは何でしょうか」と孔子は「それは恕（じよ）という言葉である」と答え、こう続けました「己の欲せざるところを人に施すなかれ」「恕」とは、自分が嫌だと思ふようなことを他の人にしてはいいないということだ。つまり、「恕」とは「相手の思いやりの心」のことなのです。心には目には見えませんが、心遣いや思いやりの行動は目に見えます。友に対する「思いやりの心を持ちお互いを高め合う」とそんな気概を大切にしてください。孔子は言いたかったのではないのでしょうか。

自分が嫌だと思ふことは相手も嫌なのです。逆に、自分が欲している事柄は、相手もまた欲する場合が少なくありません。何事につけても、自分本位の物事を考えるのではなく、相手の立場に立つて、相手を思いやることで信頼関係が生まれてくるのです。学校生活では、一歩一歩、一日一日の積み重ねを意識し、思いやりの心を持って学校生活を送ってください。

そして、三つ目は「良い友を見つけよう」ということです。「益者三友」という言葉があります。益者三友とは、自分をより良い方向へ導く三人の友のことです。一人は、物事や交友関係で悩むほどに思うことを言ってくれる「正直な人」、もう一人は誠意や正しさを教えてくれる「誠実な人」、最後が心惹かれるような教養を持つ「博識な人」です。これからの学校生活で、学習活動、部活動、課外活動等に情熱を尽くし、丁寧に真摯に取り組みてください。そうすれば、きっと自分をより良い方向へ導く三人の友に巡りあえることでしょう。そして、皆さん自身も他人に対して正直で誠実で博識な良き友になれるよう、日々精進してください。互いに切磋琢磨し影響し合い、素晴らしい交友関係を構築できるように努力してください。

「人は「努力」の数だけ強い心をつくり、「思いやり」の数だけ友をつくり、「感謝」の数だけ人生の味方をつくる」ことができる」という言葉があります。どうか皆さん、三年後に高校を卒業する時には、一人ひとりが、かけがえない友の存在を自覚できるように充実した学園生活を送ってください。

次に、保護者の皆様方に申し上げます。本日、私たち教職員一同は、皆様の大切なお子様をお預かりいたしました。これからお子様は、自立への道を歩むこととなります。心優し、たくましく人に育ち、夢を実現してくれることは、保護者の皆様と私たち教職員の共通の願いであります。お子様の自立と大切な夢の実現に向けて、学校と生徒、そして「家庭」が「三位一体」となり、連携を深めた教育活動に取り組んでまいります。つきましては、何卒、本校の教育方針をご理解いただき、今後ともご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新入生の皆さん、本校の三年間の学校生活において、情熱を持って学び、将来自分がやりたいことを見つけ、誰にも負けない大きな夢を育んでください。そして、変化の激しい社会を生き抜く確かな人間力に付けてください。二度とない煌めく青春時代を学習に部活動等にと、常に高みを目指し、真の友を得て仲良く心豊かに過ごしていただけることを期待して止みません。

皆さんの高校生活が充実した有意義なものとなりますようご祈念申し上げます。式辞といたします。

令和四年度四月六日

日本大学山形高等学校 校長 中園 健二

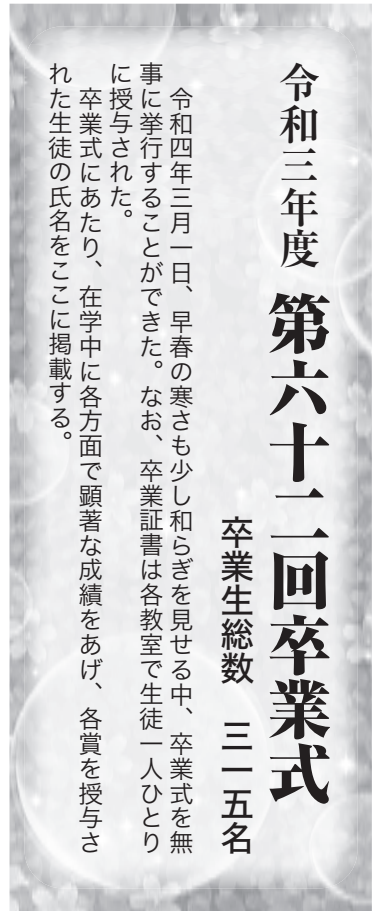
### 令和四年度 第一学年担当教員

- 主任 首藤 裕二(地)
- 副主任 園田 剛樹(公民)
- 一組 園田 剛樹(公民)
- 二組 黒田 孝則(保健)
- 三組 岡崎 圭祐(地歴)
- 四組 穂積 武朋(数)
- 五組 小山 崇子(英)
- 六組 清水 崇宏(理)
- 七組 大江 和司(英)
- 八組 近野 仁美(国)
- 九組 森谷 英治(理)
- 副担任 遠藤 淳一(国)
- 菅野 充彦(数)
- 林 稔(国)
- ◇学年所属教員
- 宮内慶太郎(国)
- 九子 歩実(数)
- 鳴海竜太郎(数)
- 結城 智史(理)
- 中台 優子(英)
- 西尾ポール(英)
- 中島 章乃(英)
- 那珂 郁(英)
- 板垣 真(保健)
- 原田 明香(保健)

# 令和三年度 第六十二回卒業式

## 卒業生総数 三二五名

令和四年三月一日、早春の寒さも少し和らぎを見せる中、卒業式を無事に挙行することができた。なお、卒業証書は各教室で生徒一人ひとりに授与された。  
卒業式にあたり、在学中に各方面で顕著な成績をあげ、各賞を授与された生徒の氏名をここに掲載する。



卒業証書授与

### 受賞者

- 一、学長賞(学業部門) 荒井 斗希(山形四中)
- 二、学長賞(学術・文化部門) ダンスドリル部
- 三、学長賞(体育部門) 船山 乃亜(上山北中)
- 四、優秀賞(学術・文化部門) 長濱 日和(山形六中)
- 五、優秀賞(体育部門) 菅原 輝真(山形四中) 齊藤 拓海(山形四中)
- 六、優等賞 橋本 開(山形四中) 早坂 えり(山形一中) 保科 紅華(小国中) 阿部 颯斗(山形六中) 荒井 斗希(山形四中)
- 七、皆勤賞 三十一名
- 八、精勤賞 九十七名
- 九、学校長賞 三十名

### 十、大久保・矢野賞 努力賞

- 佐藤 拓斗(藤島中)
- 井上 文慈(日新中)
- 齋藤 櫻音(山形八中)
- 梅津 琴未(山形六中)
- 佐藤 万見(高島中)
- 斉藤 文音(東根一中)
- 菊地リリカ(山形三中)
- 荻野 日和(山形十中)
- 浅野 奨多(東根一中)
- 木村 百葉(上山南中)

### (2) 功労賞

- 会長 長濱 太陽(長尾中)
- 総務員 大江 竜摩(山形一中) 片山 芽里(陵南中) 梅津 琴未(山形六中) 新開 里彩(金井中) 菊地 孝太(金井中)
- 代議員 樹里(仙宮員學園)
- 代議員 樹里(仙宮員學園)
- 代議員 樹里(仙宮員學園)
- 代議員 樹里(仙宮員學園)
- 学級委員長 菊地保乃(梅香中)
- 週番委員長 早坂 えり(山形一中)
- 浅野日広都(蔵王一中)
- 保体委員長 高橋 琉偉(長井北中)

- HR運営委員長 伊藤 翼杜(山形六中)
- 環境整備委員長 遠藤 夕雅(米沢二中)
- 図書委員長 五十嵐賢大(金井中)
- 女子部専門委員長 片桐菜々子(山大附中)
- 応援委員長・團長 渡邊 奈央(山形六中)
- 運動部長 村山 元氣(上山北中)
- 文化部長 深瀬 利宗(山大附中)
- 令和二年度 総務員 佐藤良唯斗(金井中) 寒河江瑠空(金井中) 泉 涼太(米沢五中)



担任を先頭に入場

### 林 凜太郎(天童三中) 令和二年度 代議員書記 城戸口想大(山形二中)

### (3) 体育賞

- 野球部 佐藤 拓斗(藤島中)
- 男子バスケットボール部 佐藤 怜央(天童四中)
- サッカー部 志鎌 幹太(山形六中)
- 剣道部 鈴木 陵元(山形四中)
- バドミントン部 大川 竜摩(山形一中)
- 陸上競技部 石川 颯大(陵南中)
- 陸上競技部 山口 心愛(東根一中)
- 柔道部 蜂谷 一明(山形九中)
- ボクシング部 佐藤 雛愛(東根一中)
- 男子バレーボール部 高橋 敬尚(陵南中)
- ソフトテニス部 村山 元氣(上山北中)
- ソフトテニス部 福井 椋(日新中)
- スキー部 佐藤 希海(尾花沢中)
- 水泳部 伊藤 康太(山形六中)

- 男子テニス部 阿部 壹河(山形六中)
- 男子ハンドボール部 加藤 大也(山形四中)
- ラグビーフットボール部 古澤 柚夏(山形一中)
- ゴルフ部 石澤 慧翔(天童三中)
- 女子バレーボール部 鈴木 萌乃(山形五中)
- 女子テニス部 荒木 南穂(山形六中)
- 女子ハンドボール部 折原 藍未(尾花沢中)
- 女子バスケットボール部 矢吹 綾香(神町中)

### (4) 文化賞

- 吹奏楽部 藤井 花帆(楯岡中)
- 美術部 長濱 日和(山形六中)
- 英会話部 保科 紅華(小国中)
- 写真部 高嶋 弘樹(山大附中)
- 生物部 深瀬 利宗(山大附中)
- 演劇部 大石 桐子(上山南中)
- 書道部 押野 友香(河北中)
- 放送部 渡邊 真弓(陵東中)
- JRC部 氏家 麻李(山大附中)
- 音楽部 高橋 大河(大江中)
- ダンスドリル部 栗野ほの夏(山形三中)
- 漫画部 高橋 識匡(上山北中)
- スキー部 中山 美咲(みどり台中)

### 十二、栄光のメダル

- (1) 金メダル ボクシング部 船山 乃亜(上山北中)
- スキー部 中山 美咲(みどり台中)

- (2) 銀メダル 水泳部 三 名
- スキー部 二 名

- (3) 銅メダル 野球部 二 十六 名
- 男子バスケットボール部 一 名

- ボクシング部 六 名
- サッカー部 六 名
- 水泳部 五 名
- スキー部 一 名
- 男子テニス部 七 名
- 女子ハンドボール部 五 名
- ゴルフ部 一 名

- (4) 文化賞メダル 吹奏楽部 六 名
- ダンスドリル部 六 名
- 生物部 一 名
- 美術部 一 名

### 学外賞

- (1) 日本私立中高連理理事長賞 濱崎 太陽(長尾中)
- (2) 日本学生野球協会表彰 佐藤 拓斗(藤島中)



校長式辞

部活動報告

運動部

男子バスケットボール部

・県高校バスケットボール選手権大会 優勝 個人ベスト16
・地区新人大会 優勝 個人ベスト16
・県新人大会 優勝 個人ベスト16

サッカー部

・高校サッカー選手権大会山形県大会 優勝 個人ベスト8
・県新人大会 優勝 個人ベスト8
・地区一年生大会 優勝 個人ベスト8

剣道部

・地区新人大会 優勝 個人ベスト8
・男子団体 第三シード獲得
・県新人大会 優勝 個人ベスト8
・女子団体 優勝 個人ベスト8

バドミントン部

・県新人大会 男子団体 優勝 個人ベスト8
・県新人大会 女子団体 優勝 個人ベスト8
・代表決定戦出場
・シヤワ杯県大会 優勝 個人ベスト16

陸上部

・東北新人大会 優勝 個人ベスト8
・走幅跳 優勝 個人ベスト8
・地区リーグ戦 優勝 個人ベスト8

柔道部

・県新人大会 個人ベスト16
・全国高等学校柔道選手権大会 優勝 個人ベスト16
・山形予選会 優勝 個人ベスト16

卓球部

・県選手権大会 優勝 個人ベスト8
・二回戦出場
・ニッタク杯卓球大会 優勝 個人ベスト8

ボクシング部

・県新人大会 優勝 個人ベスト8
・一部ヒン級 優勝 個人ベスト8

女子バスケットボール部

・一部ライトフライ級 優勝 個人ベスト8
・二部ライトフライ級 優勝 個人ベスト8
・一部ライトフライ級 優勝 個人ベスト8

女子サッカー部

・一部ライトフライ級 優勝 個人ベスト8
・二部ライトフライ級 優勝 個人ベスト8
・一部ライトフライ級 優勝 個人ベスト8

女子剣道部

・一部ライトフライ級 優勝 個人ベスト8
・二部ライトフライ級 優勝 個人ベスト8
・一部ライトフライ級 優勝 個人ベスト8

女子バドミントン部

・一部ライトフライ級 優勝 個人ベスト8
・二部ライトフライ級 優勝 個人ベスト8
・一部ライトフライ級 優勝 個人ベスト8

女子陸上部

・一部ライトフライ級 優勝 個人ベスト8
・二部ライトフライ級 優勝 個人ベスト8
・一部ライトフライ級 優勝 個人ベスト8

女子柔道部

・一部ライトフライ級 優勝 個人ベスト8
・二部ライトフライ級 優勝 個人ベスト8
・一部ライトフライ級 優勝 個人ベスト8

女子卓球部

・一部ライトフライ級 優勝 個人ベスト8
・二部ライトフライ級 優勝 個人ベスト8
・一部ライトフライ級 優勝 個人ベスト8

女子ボクシング部

・一部ライトフライ級 優勝 個人ベスト8
・二部ライトフライ級 優勝 個人ベスト8
・一部ライトフライ級 優勝 個人ベスト8

スキー部

・地区インドラ大会 個人 出場
・県高校スキー大会 優勝 個人ベスト8
・全日本スキー選手権 優勝 個人ベスト8

・男子 優勝 個人ベスト8
・女子 優勝 個人ベスト8
・混合優勝 優勝 個人ベスト8

・男子 優勝 個人ベスト8
・女子 優勝 個人ベスト8
・混合優勝 優勝 個人ベスト8

・男子 優勝 個人ベスト8
・女子 優勝 個人ベスト8
・混合優勝 優勝 個人ベスト8

・男子 優勝 個人ベスト8
・女子 優勝 個人ベスト8
・混合優勝 優勝 個人ベスト8

・男子 優勝 個人ベスト8
・女子 優勝 個人ベスト8
・混合優勝 優勝 個人ベスト8

・男子 優勝 個人ベスト8
・女子 優勝 個人ベスト8
・混合優勝 優勝 個人ベスト8

水泳部

・東北新人大会 優勝 個人ベスト8
・男子 優勝 個人ベスト8
・女子 優勝 個人ベスト8

・男子 優勝 個人ベスト8
・女子 優勝 個人ベスト8
・混合優勝 優勝 個人ベスト8

・男子 優勝 個人ベスト8
・女子 優勝 個人ベスト8
・混合優勝 優勝 個人ベスト8

・男子 優勝 個人ベスト8
・女子 優勝 個人ベスト8
・混合優勝 優勝 個人ベスト8

・男子 優勝 個人ベスト8
・女子 優勝 個人ベスト8
・混合優勝 優勝 個人ベスト8

・男子 優勝 個人ベスト8
・女子 優勝 個人ベスト8
・混合優勝 優勝 個人ベスト8

・男子 優勝 個人ベスト8
・女子 優勝 個人ベスト8
・混合優勝 優勝 個人ベスト8

男子テニス部

・県新人大会 優勝 個人ベスト8
・個人 シングルス 優勝 個人ベスト8
・団体 シングルス 優勝 個人ベスト8

・男子 優勝 個人ベスト8
・女子 優勝 個人ベスト8
・混合優勝 優勝 個人ベスト8

・男子 優勝 個人ベスト8
・女子 優勝 個人ベスト8
・混合優勝 優勝 個人ベスト8

・男子 優勝 個人ベスト8
・女子 優勝 個人ベスト8
・混合優勝 優勝 個人ベスト8

・男子 優勝 個人ベスト8
・女子 優勝 個人ベスト8
・混合優勝 優勝 個人ベスト8

・男子 優勝 個人ベスト8
・女子 優勝 個人ベスト8
・混合優勝 優勝 個人ベスト8

・男子 優勝 個人ベスト8
・女子 優勝 個人ベスト8
・混合優勝 優勝 個人ベスト8

女子テニス部

・県新人大会 優勝 個人ベスト8
・個人 シングルス 優勝 個人ベスト8
・団体 シングルス 優勝 個人ベスト8

・男子 優勝 個人ベスト8
・女子 優勝 個人ベスト8
・混合優勝 優勝 個人ベスト8

・男子 優勝 個人ベスト8
・女子 優勝 個人ベスト8
・混合優勝 優勝 個人ベスト8

・男子 優勝 個人ベスト8
・女子 優勝 個人ベスト8
・混合優勝 優勝 個人ベスト8

・男子 優勝 個人ベスト8
・女子 優勝 個人ベスト8
・混合優勝 優勝 個人ベスト8

・男子 優勝 個人ベスト8
・女子 優勝 個人ベスト8
・混合優勝 優勝 個人ベスト8

・男子 優勝 個人ベスト8
・女子 優勝 個人ベスト8
・混合優勝 優勝 個人ベスト8

- 個人シンクルス
  - 三位 茂木 音羽 (金井中)
  - 三位 佐藤 彩乃 (天童一中)
  - 東北選抜高等学校テニス大会 団体 ベスト8
  - 東北私立高等学校テニス選手権 団体 二位
  - シングルス
    - 三位 佐藤 彩乃 (天童一中)
    - 東北インドアテニス選手権山形選考会 ダブルス
      - 優勝 茂木・他校生
      - 東北春季ジュニアテニス大会山形県予選会 シングルス
        - 三位 佐藤 彩乃 (天童一中)
        - 全国私立高等学校テニス選手権大会 出場
        - 団体 出場
        - シングルス
          - 出場 茂木 音羽 (金井中)

- ダンスドリル部
  - ・全国高等学校ダンスドリル秋季大会2021 JAZZ部門 Large 編成 優勝
  - SONG / POM部門 優勝
  - M's 編成
  - 優勝 SOLLO部門 一年生
  - 橋本 京花 (山大附中)
  - 二位 齋藤 愛心 (山形一中)
  - USA Regional 三位
  - 東北大会 オルゴン部門 三位
  - Song / Pom部門 Med i um 出場
  - ・全国高等学校ダンスドリル冬季大会2022 JAZZ部門 Large 編成 三位
  - SONG / POM部門 Med i um 編成 出場
  - M's SOLLO部門 一年生
  - 三位 橋本 京花 (山大附中)
- 書道部
  - ・県高校総文祭 書道専門部会長賞
  - 菊地 直 (葉山中)
- 音楽部
  - ・全国高等学校軽音楽部バンドバトル冬の陣
  - オーディエンス賞
    - 高橋 大河 (大江中)
    - 佐藤 亜海 (沖郷中)
    - 片桐 裕太 (天童三中)

各種表彰

- ◇日本大学付属高等学校等第三十八回 文芸コンクール
  - 短歌 今井 瑛登 (山大附中)
  - 佳作 品川 愛結 (山形二中)
  - 詩 木村 百葉 (上山中)
- ◇第四十五回山形県高等学校総合文化祭テーマ標語
  - 優秀賞 佐藤 慶太 (山形三中)
  - 「夢を乗せ 文化のたすき 蔵王へと」
- ◇令和四年度山形県高等学校交通安全標語
  - 優秀作品 保科 紅華 (小国中)
  - 「イヤホンで 迫る危険を聞き逃す」
- ◇山形県防犯広報作品コンクール
  - 防犯標語 茂木 音羽 (金井中)
  - 最優秀 茂木 音羽 (金井中)
  - 「毎日の 家族の会話が 防止策」

令和3年度卒業生の進路状況について

進路指導主任 松浦 正治



卒業生315名の進路状況は、4年制大学217名(68.9%)、短期大学10名(3.2%)、官庁大学校1名(0.3%)、専門学校51名(16.2%)、就職20名(6.3%)であった。

新型コロナウイルスによる制限が続く中だが、自分の夢に向かいチャレンジする生徒たちが数多く見られた。オープンキャンパスや講習会に積極的に参加し、大学や専門学校に推薦入試や一般入試など様々な方式で挑戦し、目標を達成した生徒たちの姿が印象的である。国公立大学・私立大学とも推薦入試を有効に使い第1志望合格を手にした生徒も多かったが、それは学力向上に真剣に取り組む姿あつてのことである。また公務員(行政・消防)や民間企業への内定も計画的な努力の積み重ねによるところが大きい。

<p><b>令和3年度 主な 合格実績</b></p> <p>※延べ人数 ※( )内の数字は、過年度生で内数 令和4年4月1日現在</p>	<p><b>日本大学 120(2)名</b></p> <p>法学部 9名</p> <p>文学部 18名</p> <p>経済学部 12名</p> <p>商学部 9名</p> <p>芸術学部 6名</p> <p>国際関係学部 5名</p> <p>危機管理学部 1名</p> <p>スポーツ科学部 2名</p> <p>理工学部 8名</p> <p>生産工学部 16名</p> <p>工学部 14名</p> <p>歯学部 1(1)名</p> <p>松戸歯学部 1(1)名</p> <p>生物資源科学部 7名</p> <p>薬学部 3名</p> <p>法学部第二部 3名</p>	<p>短期大学部 5名</p> <p><b>国公立大学・国公立短期大学 31(5)名</b></p> <p>北海道教育大学函館校 教育 1名</p> <p>岩手大学 理工 1(1)名</p> <p>東北大学 法 1(1)名</p> <p>薬 1(1)名</p> <p>秋田大学 理工 3名</p> <p>山形大学 人文社会 1名</p> <p>地域教育文化 3名</p> <p>理 1(1)名</p> <p>工 6名</p> <p>農 1名</p> <p>福島大学 人文社会 2名</p> <p>茨城大学 工 1(1)名</p> <p>信州大学 教育 1名</p> <p>青森公立大学 経営経済 2名</p> <p>岩手県立大学 社会福祉 1名</p> <p>山形県立保健医療大学 保健医療 1名</p> <p>高崎経済大学 地域政策 1名</p> <p>経済 1名</p> <p>長野大学 保健医療 1名</p> <p>山形県立米沢女子短期大学 日本文学 1名</p>	<p>仙台大学 4名</p> <p>東北医科薬科大学 2(1)名</p> <p>東北学院大学 14名</p> <p>東北福祉大学 10名</p> <p>東北芸術工科大学 6名</p> <p>東北公益文科大学 4名</p> <p>青山学院大学 4名</p> <p>国土館大学 2名</p> <p>成蹊大学 2名</p> <p>拓殖大学 1名</p> <p>中央大学 2(1)名</p> <p>東京家政大学 1名</p> <p>東京薬科大学 2名</p> <p>東京理科大学 2名</p> <p>東洋大学 1名</p> <p>法政大学 2名</p> <p>明治大学 1名</p> <p>武蔵野美術大学 1名</p> <p>早稲田大学 2名</p> <p>神奈川大学 5名</p> <p>関東学院大学 3名</p> <p>同志社大学 2(1)名</p> <p>立命館大学 1(1)名</p> <p>近畿大学 1(1)名</p> <p>仙台青葉学院短期大学 2(1)名</p> <p>羽陽学園短期大学 2名</p>	<p><b>専門学校 56(1)名</b></p> <p>国立病院機構山形病院附属看護学校 1(1)名</p> <p>大原スポーツ公務員専門学校 山形校 4名</p> <p>山形県立産業技術短期大学校 3名</p> <p>山形県立農林大学校 3名</p> <p>山形厚生看護学校 2名</p> <p>山形調理師専門学校 1名</p> <p>SENDAI中央理容美容専門学校 2名</p> <p>仙台医健・スポーツ専門学校 6名</p> <p>仙台デザイン&amp;テクノロジー専門学校 2名</p> <p>日本工学院専門学校 1名</p>	<p><b>就職 23名</b></p> <p>株式会社カーサービス山形 1名</p> <p>株式会社カスカフスポーツ 1名</p> <p>小白川建設株式会社 1名</p> <p>東和薬品株式会社 山形工場 3名</p> <p>那須建設株式会社 1名</p> <p>舟形町役場職員 1名</p> <p>西村山広域行政事務組合職員(消防) 1名</p> <p>尾花沢市職員(消防) 1名</p> <p>自衛官一般曹候補生 2名</p> <p>自衛官候補生 5名</p>	<p><b>省庁大学校 1名</b></p> <p>水産大学校 1名</p>
	<p><b>日本大学以外の 私立大学・短期大学 134(8)名</b></p> <p>岩手医科大学 1(1)名</p>					

### 新校長あいさつ

#### 未来の扉を開く



校長 中園 健二

この度、前任の島津宏道先生のご勇退に伴い、後任として第十七代校長に就任いたしました中園健二と申します。保護者の皆さまをはじめ、関係各位におかれましては、日頃より本校の教育活動に對しまして、多大なるご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

春は出会いと別れの季節といいますが、生徒の皆さんはそれぞれ一つの学年へとステップアップし、古い殻を抜け出し、今こそ「次なる未来」へ羽ばたこうと決意を以てしていることではないでしょうか。

特に新入生の皆さんは、希望に燃えて本校の門をくぐり、これから始まる輝かしい未来の扉を今開こうとしているのではないのでしょうか。かく言う私も、三十四年間の横浜での教員生活から、豊かな自然に育まれたこの地、山形での貴重な未来の扉を、大きな喜びと多少の緊張感を持って、今まさに開こうとしているところでありませぬ。

### 新任教職員紹介

#### 四月から

#### お世話になります

#### 言葉を大切にして



菅野 稔 (国語科)

この度、常勤講師としてお世話になります。一学年の副担任、国語を担当します。高校の国語は、今春入学の一年生から「現代の国語」と「言語文化」に再編されました。言葉にこだわって、色々の言語活動を通して、わかる授業を目指します。よろしくお祈いします。



千葉惣一郎 (英語科)

平均寿命まであと十数年ですが、生徒と接してみても、自分の能力・可能性を無駄にしている生徒が多く見つけられると感じました。英語を通して、一回限りの人生にもっと本気で真摯に対峙するための助けになれば、学ぶ楽しさを伝えることができればと強く思っています。

### 学年主任あいさつ

#### さあ、やりたい自分に

#### 第一学年主任

#### 首藤 裕二



新入生の皆さん、入学おめでとう。この三年間は皆さんにとって、社会人としての下地を完成形にしていく大切な時間となります。皆さんは卒業時には「成人」としての義務と責任を負うことになるのですから。

皆さんは「何者」にでもなれる可能性を持っています。それを可能性で終わらせてしまいかどうかはあなた次第です。本気でやりたい自分になろうと思うのであれば、それを達成するための短期・中期・長期目標を立てて、チェック、修正しながら目に見える努力をしていきましょう。まだ「やりたいこと」「なりたい自分」がなかなか決められない人も、一日一日を大切に過ごし、同じ仲間たちから刺激を受け取り、競い合い、互いに高めあっていきましょう。チーム日大山形は、全力で皆さんをサポートしていきます。

皆さんは「何者」にでもなれる可能性を持っています。それを可能性で終わらせてしまいかどうかはあなた次第です。本気でやりたい自分になろうと思うのであれば、それを達成するための短期・中期・長期目標を立てて、チェック、修正しながら目に見える努力をしていきましょう。まだ「やりたいこと」「なりたい自分」がなかなか決められない人も、一日一日を大切に過ごし、同じ仲間たちから刺激を受け取り、競い合い、互いに高めあっていきましょう。チーム日大山形は、全力で皆さんをサポートしていきます。

#### 手に入れたいものを

#### しっかりと見つけて

#### 第二学年主任

#### 伊藤 恵二



入学して一年が経ちました。この一年間での自分の成長を口にして説明することができると言われたらどうでしょうか。自分自身のことを客観的に説明することは、そう簡単なことではありませんが、それができたら、もっと明確に自分の成長を実感できるのではないのでしょうか。そうするための手立てとして、自分が手に入れたい能力をなるべく具体的に意識することが挙げられます。勉強ならば、コースで何番以内に入る。陸上競技ならこのタイムを切る、などなど。来年度の進路決定の足場づくりに向けて、自分自身の能力を鍛え、引き上げることを大切にすることを常に具体的にイメージしましょう。そして、それを可能にしていく日常生活を大切に、アプローチし続けることで、自分の成長を実感できる一年にしていきましょう。

入学して一年が経ちました。この一年間での自分の成長を口にして説明することができると言われたらどうでしょうか。自分自身のことを客観的に説明することは、そう簡単なことではありませんが、それができたら、もっと明確に自分の成長を実感できるのではないのでしょうか。そうするための手立てとして、自分が手に入れたい能力をなるべく具体的に意識することが挙げられます。勉強ならば、コースで何番以内に入る。陸上競技ならこのタイムを切る、などなど。来年度の進路決定の足場づくりに向けて、自分自身の能力を鍛え、引き上げることを大切にすることを常に具体的にイメージしましょう。そして、それを可能にしていく日常生活を大切に、アプローチし続けることで、自分の成長を実感できる一年にしていきましょう。

入学して一年が経ちました。この一年間での自分の成長を口にして説明することができると言われたらどうでしょうか。自分自身のことを客観的に説明することは、そう簡単なことではありませんが、それができたら、もっと明確に自分の成長を実感できるのではないのでしょうか。そうするための手立てとして、自分が手に入れたい能力をなるべく具体的に意識することが挙げられます。勉強ならば、コースで何番以内に入る。陸上競技ならこのタイムを切る、などなど。来年度の進路決定の足場づくりに向けて、自分自身の能力を鍛え、引き上げることを大切にすることを常に具体的にイメージしましょう。そして、それを可能にしていく日常生活を大切に、アプローチし続けることで、自分の成長を実感できる一年にしていきましょう。

#### 「未来」をつくりだそう

#### 第三学年主任

#### 濑井 徹



最終学年を迎えます。

た。よく「過去」は変えられないが「未来」は変えることができると言われる。進路目標達成のために徹底的に学習に励み、輝かしい「未来」をつくり出してほしいと思います。ここで一つ伝えたいことがあります。矛盾していると思われるかもしれませんが、皆さんの今の努力は「未来」をつくるだけでなく、なんと「過去」をも変える力があるのです。想像してみてください。時間が経つと今も、今見ている「未来」もいずれは「過去」になります。そこから見る「過去」を今生きているのです。しっかりと足跡を残しながら生きていくと、たくさんさんの素晴らしい「出会い」に恵まれます。偶然と思える「出会い」は、実は「過去」の自分との「出会い」のようには思えるのです。高校三年生としての進路探究が人生全体を輝かせることを願っています。

た。よく「過去」は変えられないが「未来」は変えることができると言われる。進路目標達成のために徹底的に学習に励み、輝かしい「未来」をつくり出してほしいと思います。ここで一つ伝えたいことがあります。矛盾していると思われるかもしれませんが、皆さんの今の努力は「未来」をつくるだけでなく、なんと「過去」をも変える力があるのです。想像してみてください。時間が経つと今も、今見ている「未来」もいずれは「過去」になります。そこから見る「過去」を今生きているのです。しっかりと足跡を残しながら生きていくと、たくさんさんの素晴らしい「出会い」に恵まれます。偶然と思える「出会い」は、実は「過去」の自分との「出会い」のようには思えるのです。高校三年生としての進路探究が人生全体を輝かせることを願っています。



# 一学年体育祭

例年七月に二日間におたつて行われる体育祭は、コロナ禍の影響により、十一月に一日のみに規模を縮小した形で開催された。場所は本校体育館にて、人との接触が少ないバレーボールで鏑を削った。

それぞれの試合で手に汗握る白熱した勝負が繰り広げられた。各部のエースが集うスポーツコースは持ち前の運動神経で生徒たちを魅了した。それに負けじと進学・特進コースは粘りのプレーで食らいついた。

- |    |        |
|----|--------|
| 男子 | 優勝 一組  |
|    | 準優勝 二組 |
|    | 三位 七組  |
| 女子 | 優勝 三組  |
|    | 準優勝 七組 |
|    | 三位 九組  |

令和三年十二月十七日にボクシング・岡澤セオン選手が来校し、本校体育館にて東京オリンピック二〇二〇出場、男子世界選手権ウエルター級優勝の報告会が行われた。生徒たちは来校を知らされておらず、チャンピオンベルトを抱えた岡澤選手の突然の登場に驚き、感動の中での対面となった。岡澤選手は、東京オリンピックから約三ヵ月後にセルビアで行われた世界選手権での優勝や高校時代のエ

## 岡澤セオン選手 (本校OB)来校

ピソードなど、自身の経歴を振り返り、「好きなことを継続する気持ちを忘れないで欲しい」と熱い激励の言葉をいただいた。また、生徒からの質問にも丁寧に答えていただいたほか、ステージ上でミット打ちの実演のお願いにも応えてくださった。リング上の姿さながらの迫力に生徒たちは圧倒されつつ、世界で闘うアスリートとの貴重な時間を過ごすことができた。



令和四年二月十八日に二学年クラス代表による探究発表全体会が開催された。年度当初に、クラス担任から学習の進め方について説明を受け、探究テーマの設定とグループ編成を経て、本格的に始動した。

二学年全体では八十二のグループが作られ、グループのテーマごとに情報の収集や整理・分析、活動内容のまとめや表現の工夫などに取り組み、九月と二月のクラス発表会に臨んだ。

今回の全体会は、クラスごと代表に選出された二グループ合計二十グループが発表会場に分かれ、二学年生徒と教職員を前にこれま

## 一学年 探究発表全体会



での探究活動の成果を発表するものであった。参加者は、自分が聞きたい発表を四つ選び、それぞれの会場に足を運び、興味深い発表に真剣に耳を傾けていた。このような活動を通して、思考力・判断力・表現力の向上に継続的に取り組むことの大切さを実感する有意義なものとなった。

## 九州修学旅行

十一月十六日から四泊五日の日程で、二年生は三つの隊に分かれ、九州修学旅行を実施した。コロナ禍の中で修学旅行を行うかどうかの議論から始まり、保護者への意向調査を踏まえ、高校生活の中でも大きな行事であること、昨今はコロナ禍で制限のある高校生活となつてきていることなどから実施に向けた検討が重ねられた。その結果、生徒の健康と安全を確保することなどを条件として、出発する運びとなった。

修学旅行前からの健康観察、旅行中の手指消毒や検温の徹底などいつもとは異なる旅行となった。旅行前



から生徒たちは入念な事前学習、計画を立てた上で出発した。九州の多様な文化や食に触れ、戦争遺跡を訪れて平和の尊さを学んだこと、グローバル社会で主体的に活躍・貢献できる素養を身につけることができたとようだ。帰りたいくないという声がかかるほど、有意義な修学旅行となった。

## 勇躍 全国大会入賞おめでとう!!

<p>6位</p>  <p>株木 玖隆 (天童四中)</p>	<p>5位</p>  <p>中山 美咲 (みどり台中)</p>	<p>3位</p>  <p>山下りこほ (白馬中)</p>	<p>優勝</p>  <p>松田弥咲妃 (野崎中)</p>
<p>7位</p>  <p>佐藤 陽 (天童二中)</p>	<p>6位</p>  <p>高内 愛斗 (山形十中)</p>	<p>3位</p>  <p>安食 諒哉 (陵南中)</p>	<p>7位</p>  <p>中村 騎士 (豊橋中部中)</p>



令和4年度 部活動体験会	
第1回 8月6日(土)	第2回 8月11日(木・祝)
集え、中学生！日大山形の熱い部活動を体験しよう。	

令和4年度 学校説明会	
第1回 10月1日(土)	第2回 10月22日(土)
第3回 11月13日(日)	第4回 11月27日(日)
第5回 12月3日(土)	
全体説明会、特進コース説明会、個別相談、校舎見学、部活動見学などを実施予定です。	

※部活動体験会、学校説明会ともに詳細は後日、本校ホームページに掲載いたしますのでご確認ください(申込制)。

※上記以外の期日に学校参観を希望なさる方は、お電話の上ご来校ください。(☎023-641-6631 担当/矢作・橋本)



## 日大山高山新桜友会より 図書を いただきました

図書を寄贈いただいた日大山高山新桜友会は、佐藤宏樹氏を会長とする、山形新聞グループに勤務する本校卒業生の会である。図書の寄贈は平成4年2月から始まり、今回で31回を数える。冊数にすると374冊。閲覧室内に設置した専用書架に所蔵しており、一大コレクションとなっている。学校現場でもペーパーレス化が進む昨今ではあるが、本校を思い寄贈していただいた図書は、個人では買えないような事典、図鑑などの大型本、全集など、手に取ってみただけでもおもしろい。紙の本に触れ、先輩方の思いに感謝し、これらの図書を大事に活用していきたい。

## 中野拓夢選手(本校OB) 来校



昨シーズン、プロ野球セ・リーグの盗塁王に輝き、新人特別賞・山形県スポーツ特別賞を受賞した本県出身の阪神・中野拓夢内野手が来校した。中野選手は、二年生の時に夏の甲子園大会に出場し、県勢初となるベスト4進出にレギュラーとして貢献。本校卒業後は東北福祉大学、社会人野球の三菱自動車岡崎でプレーのち、ドラフト六位で阪神に入団した。

島津宏道校長や野球部の荒木準也監督・園田剛樹部長と対面した。島津校長は「今年の夏の甲子園での生徒の頑張りや、中野選手の活躍という励みがあってこそ」と話した。中野選手について、荒木監督は「高校時代から堅実な選手」と評し「プロでの三十盗塁もそうだが、失敗が二回だけというのもすごいこと」と称えた。来年の目標を問われた中野選手は「二年連続盗塁王。これを狙えるのは自分しかない」と抱負を語った。

## フオト・ア・ラ・カイト



2年生 探究発表全体会



修学旅行(軍艦島)



卒業式

日本大学山形高等学校広報部  
〒990-2433 山形市鳥居ヶ丘四一五五  
電話 〇二三一六四一―六六三二(代)  
FAX 〇二三一六四一―六六三四  
URL <https://www.ymg.hs.nihon-u.ac.jp>  
印刷 (株)大風印刷  
写真提供 フォトイシヤマ



入学式



高校生としての第一歩



初めてのホームルーム

## 編集後記

「お月さまが見えているよ」  
幼い頃、母から読み聞かせてもらった昔話の一つだ。空腹に耐えかね、夕間に紛れて畑から野菜を失敬しようとする父親は、幼子に周囲を見張るよう言い含める。いざ父親が畑に足を踏み入れようとしたとき、無垢な幼子は輝く満月に表情を見て取り、先の言葉をかける。はっと我に返り、幼子が撫でる父親の優しい表情が印象に残っている。

昨年十一月、山形でも部分月食を見ることができた。夜を照らす月のように、言葉はなくても、見守り支えてくれる存在は、かけがえないものだ。今冬の北京オリンピック・パラリンピックでは、アスリートから競技生活をサポートしてくれた人々への感謝の声が聞かれた。人と人、国と国との分断と対立が激しさを増す現実には、互いを理解することの難しさを感じずにはいられない。その一方で、手を取り日々支え合うことの尊さを日々実感する。

多くの人に見守られ育った子どもは大人になり、やがて誰かを照らし出す存在となるだろう。この「光のりレー」が、日大山形で学ぶ生徒たちに受け継がれていくことを心から願う。